

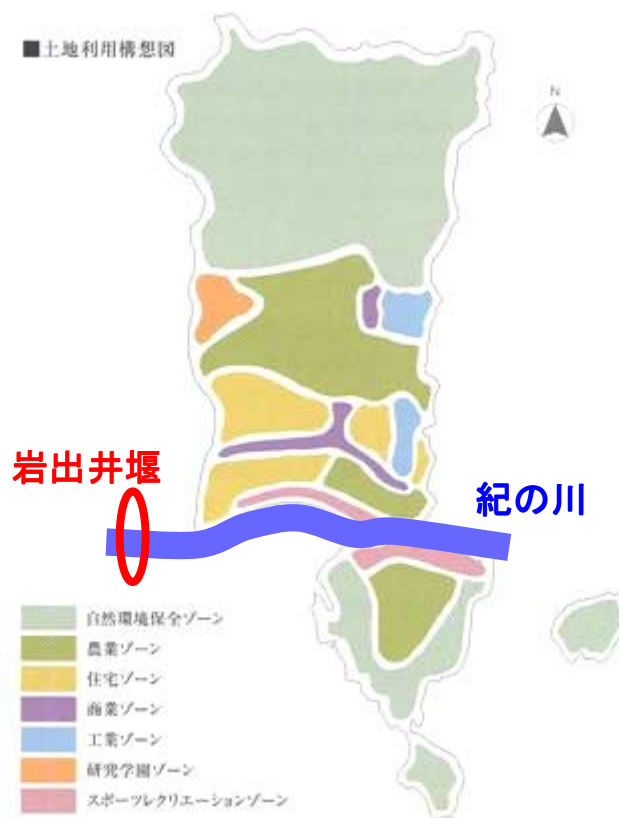
(3) 狭窄部対策箇所現状

土地利用計画

◆土地利用基本構想(岩出町) 「第4次岩出町長期総合計画」より抜粋

①市街地が形成された地域及び今後計画的に町づくりを進める地域では、住宅、商業施設、工業施設など、それぞれの目的に適した活動や良好な環境を維持できるように、都市計画による用途地域の導入など土地利用のルールづくりを推進します。

②土地利用のルールに基づき、計画的な開発の誘導、秩序ある建築物の建設を誘導し、住みやすい住宅都市の形成を図ります。



粉河町の
土地利用構想図→

◆土地利用構想(粉河町)

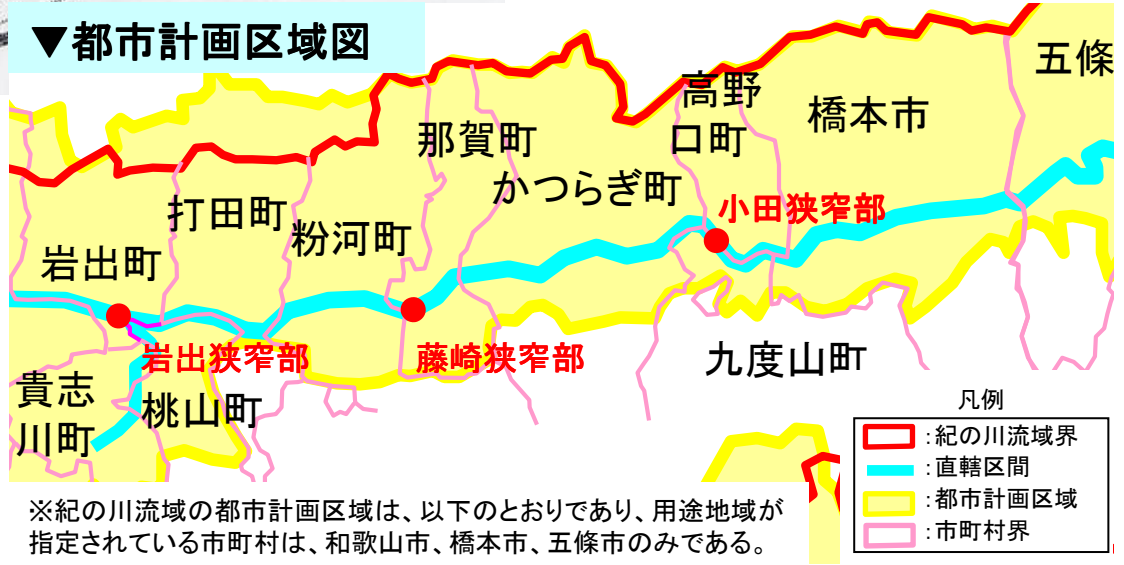
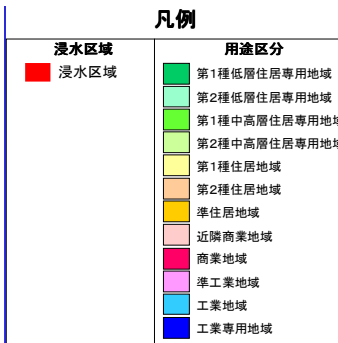
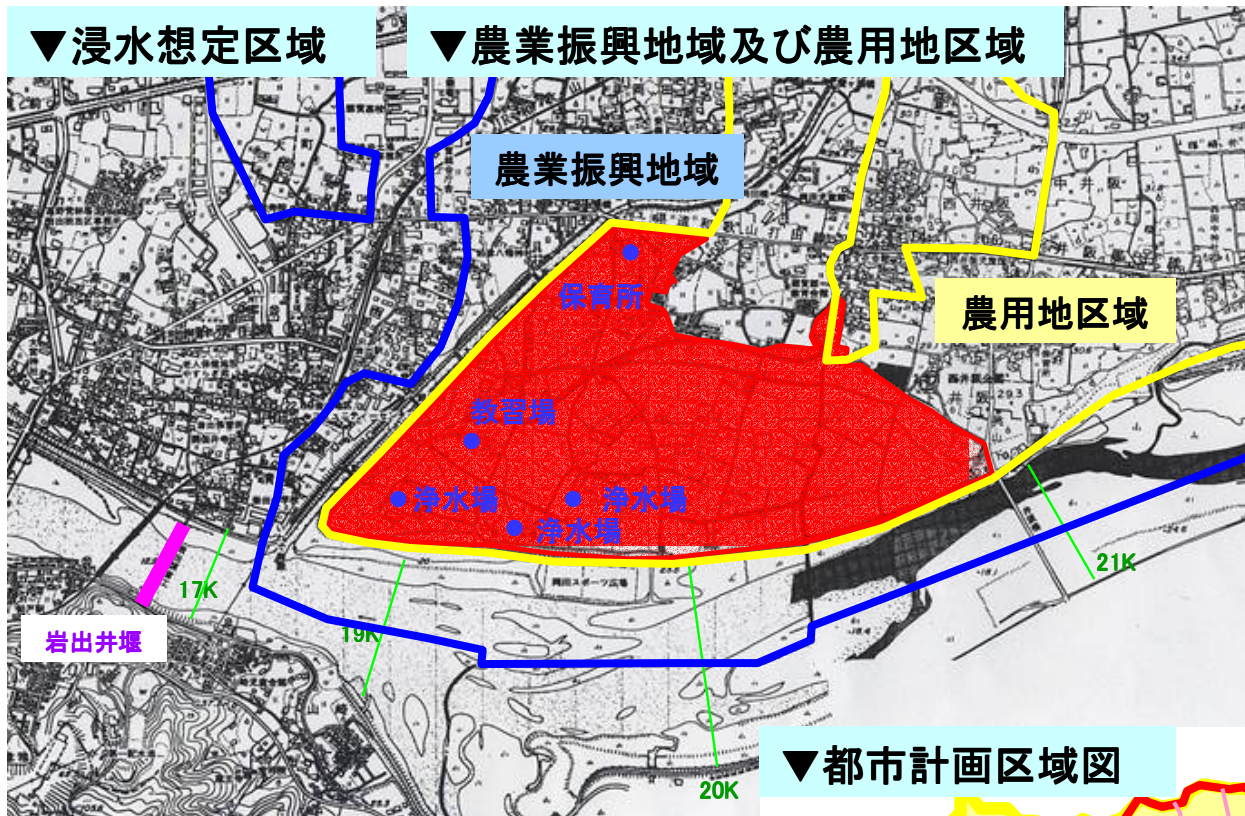
南部地域 「第5次粉河町長期総合計画」より抜粋

本地域は、紀の川が東から西にゆったりと流れており、この地域一帯は町民の憩いの場となっている。

紀の川右岸と河川敷に各種スポーツ施設を整備し、本町のスポーツの拠点として整備を進めている。紀の川左岸に位置する寺山は、スカイスポーツのパラグライダー基地となっており、休日には多くの若者の天空に浮かぶ姿が見られ、本町のシンボリックな光景になっている。また、町域を展望できる百合山のロケーションを活かして、多くの人が気軽に活用できるよう整備を進める。

さらに、紀の川左岸地域は紀伊山脈の緩急傾斜地を利用した果樹等の栽培を中心にして、農業の振興を進める。

背後地の土地利用規制(岩出町)



※紀の川流域の都市計画区域は、以下のとおりであり、用途地域が指定されている市町村は、和歌山市、橋本市、五條市のみである。

狭窄部対策(岩出)

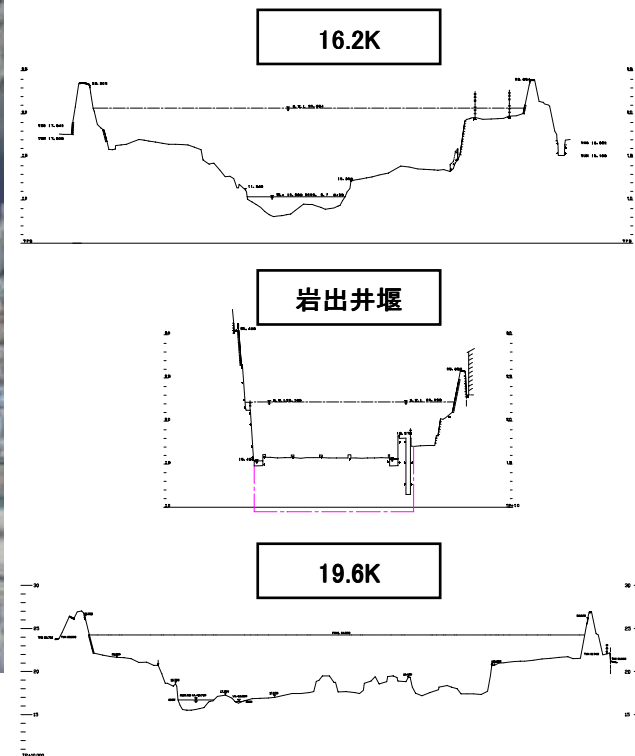


岩出井堰周辺の現状

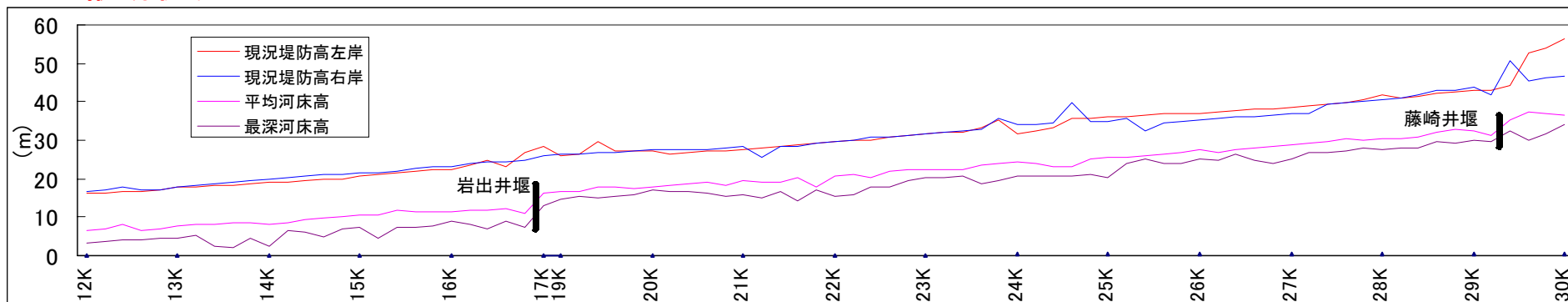
▼岩出井堰周辺の状況



▼横断状況



▼縦断状況

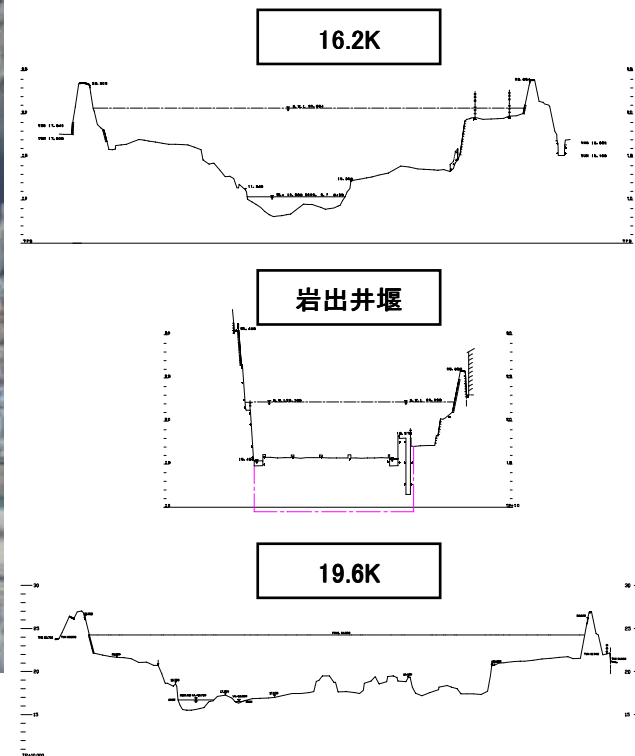


岩出井堰周辺の現状

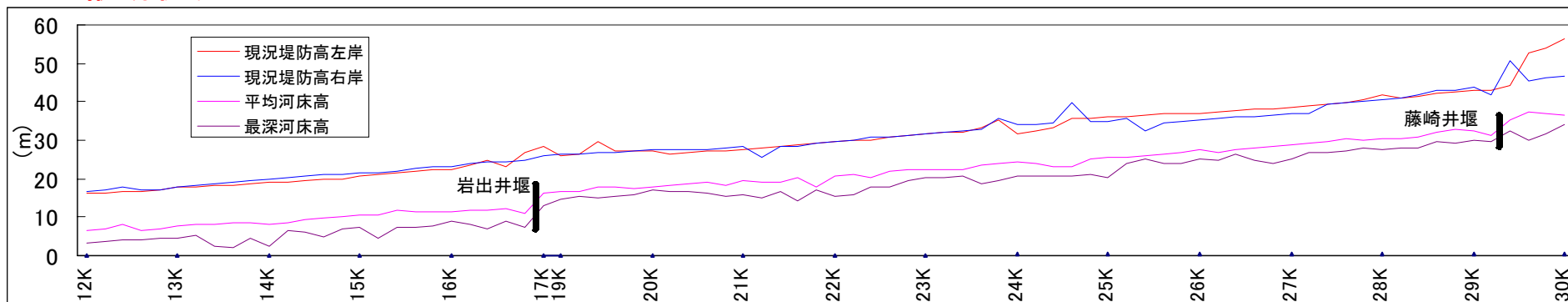
▼岩出井堰周辺の状況



▼横断状況



▼縦断状況



岩出狭窄部周辺の自然環境

【河道内について】

- 岩出井堰が築造される前には貴志川合流点付近は大きな砂州となっていた。
- 現在、堰の下流側は水深2m以上の淵、堰の上流部は湛水域となっており、貴志川合流点よりも上流が砂州となっている。
- 河床は岩盤・コンクリートとなっている。
- 15km地点付近の河床は砂礫地で、アユの産卵に適しており、天然の産卵場となっている。

【河川敷について】

- 右岸側は人工草地およびヨシ・ツルヨシ・オギ群落である。
- 左岸側は主に高木の樹林地となっている。
- 堰下流の右岸側にはまとまったヨシ群落があり、カヤネズミの生息地やオオヨシキリの繁殖地となっている可能性がある。

【特記事項】

- 徳川家に縁のある御殿山という小山が岩出井堰右岸の小学校の南側にあったが、昭和の始めの紀の川改修の際に取り除かれた。

